

岐阜県スマート農業推進センターの概要

ICTやAI、ロボット技術といった先端技術を活用して経営規模拡大・高品質生産を実現するスマート農業の情報発信拠点として、農業者等が最新のスマート農業機器等を実際に見て、体験して、学んで、便利さを実感できる施設。オペレーションセンター・モデル温室・実演ほ場の3施設で構成。

1. 施設概要

○オペレーションセンター

- ・施設規模：196.05 m² 鉄骨平屋建て
機械展示スペース：93.4 m²（農業機械3台展示可能）
研修スペース：83.0 m²（20人程度収容可能）

○モデル温室

- ・施設規模：432 m²（間口7.2m×3連棟、奥行20m、軒高3m）
- ・栽培品目：冬春トマト（独立ポット耕栽培）

○実演ほ場

- ・ほ場規模：30a

2. 施設の活用

○展示・実演

- ・農機メーカー全面協力の下、GPSによる自動操舵トラクタや、自動運転コンバインなど最新スマート農機の常設展示と定期的な実演会を開催。

○研修

- ・GPSによる自動操舵トラクタ及びドローンなどの操作講習や、環境データ等を活用した栽培管理を学べる研修を実施。
- ・スマート農業の指導者育成を目的に、岐阜県スマート農業推進員及びスマート農業専門員の研修を実施。

○データ集積・活用

- ・モデル温室や、県内各地の実証農場等における栽培データを集積し、最適な栽培体系を確立。

3. 施設外観

